令和5年度　大玉村立玉井小学校　学校だより

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども～
○　自ら学ぶ子ども
○　心豊かな子ども
○　たくましい子ども

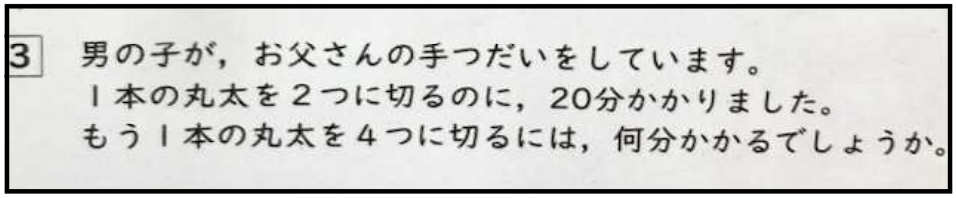
# 玉っ子

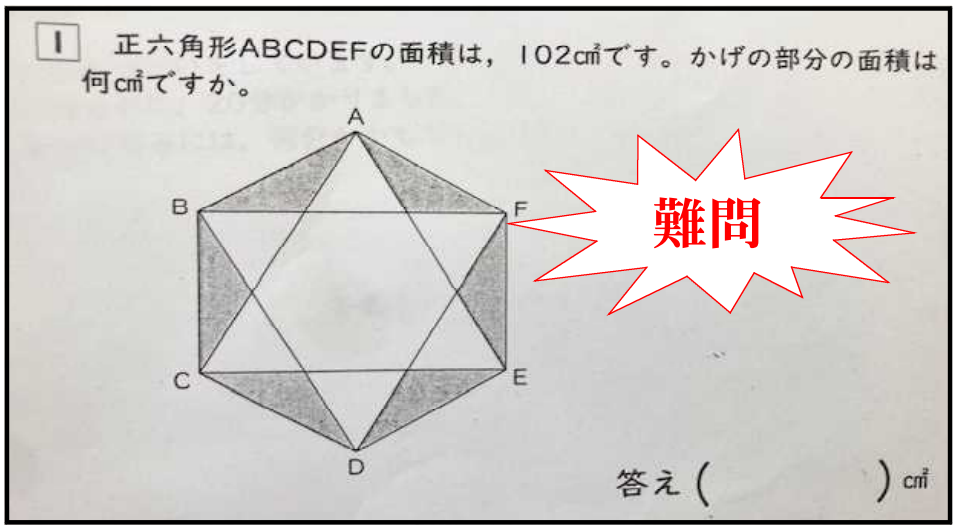
ＮＯ１７　Ｒ５.１０.２５
文責　校長　佐藤則之

## 難問に　「挑む」

校長室の廊下を挟んだところに、給食の配膳室があります。給食が終わると、各学級毎に食管や食器類の片付けをするので、６年生から３年生までがやってきます。校長室を覗いていく子どももいます。手を振っていく子どももいます。校長室の入り口の扉に算数の問題を貼っておいたところ、何人かの子どもが興味を示し取り組みました。しかし、そう簡単に解ける問題ではないのです。その名も「難問」、下記の図形の問題は５年生以上です。丸太切りの問題は２年生以上です。今のところ正解者は若干名です。一人でチャレンジして友達だちと二人でやっても、家族三人でやってもかまいません。興味をもってチャレンジすることが大切と思い掲示しています。

何人かの子どもと話している中で、「校長先生、今年は『挑む』ですから。」と言ったのは５年生の男子です。


3　男の子が，お父さんの手つだいをしています。
１本の丸太を２つに切るのに，20分かかりました。
もう１本の丸太を４つに切るには，何分かかるでしょうか。




## 今年は、熊による被害が多い

今年は熊による被害が多いそうです。例年以上に熊が出没し、目撃情報もまだ新聞紙上に出てきます。これから冬に向かい、冬眠の準備で餌を求め熊の活動も活発になるという話もあります。子どもたちの登下校に影響がないことを祈るばかりです。

熊鈴というのがありますが、鈴は熊が嫌がる音ということではなく、鈴の音で人間がいると警戒させて熊の方から離れてもらうようにするためのアイテムとのことです。熊はとても警戒心が強い動物で、音やにおいをとても警戒します。それを利用して、こちらから音を出して、警戒させて遭遇を回避する効果を期待した熊除けグッズということです。

熊鈴が万能とは言いませんが、防犯ブザーは不審者対策、熊鈴は熊対策と考えて，必要に応じ準備してみるのも一つの方法かと思います。（直売所近くにイノシシが出たという話もありましたので…少し気になりました。）